

S2-B2 Fujitsu Experience Day 2026

FUJITSU

給付請求の デジタル変革への取り組み

～オンライン診断書連携サービス～

富士通株式会社

西田 浩朗

© 2026 Fujitsu Limited



オンライン診断書連携サービス



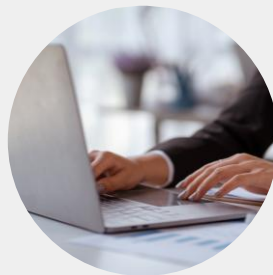
医療機関



診断書



給付金請求の
事務手続軽減



保険会社



患者

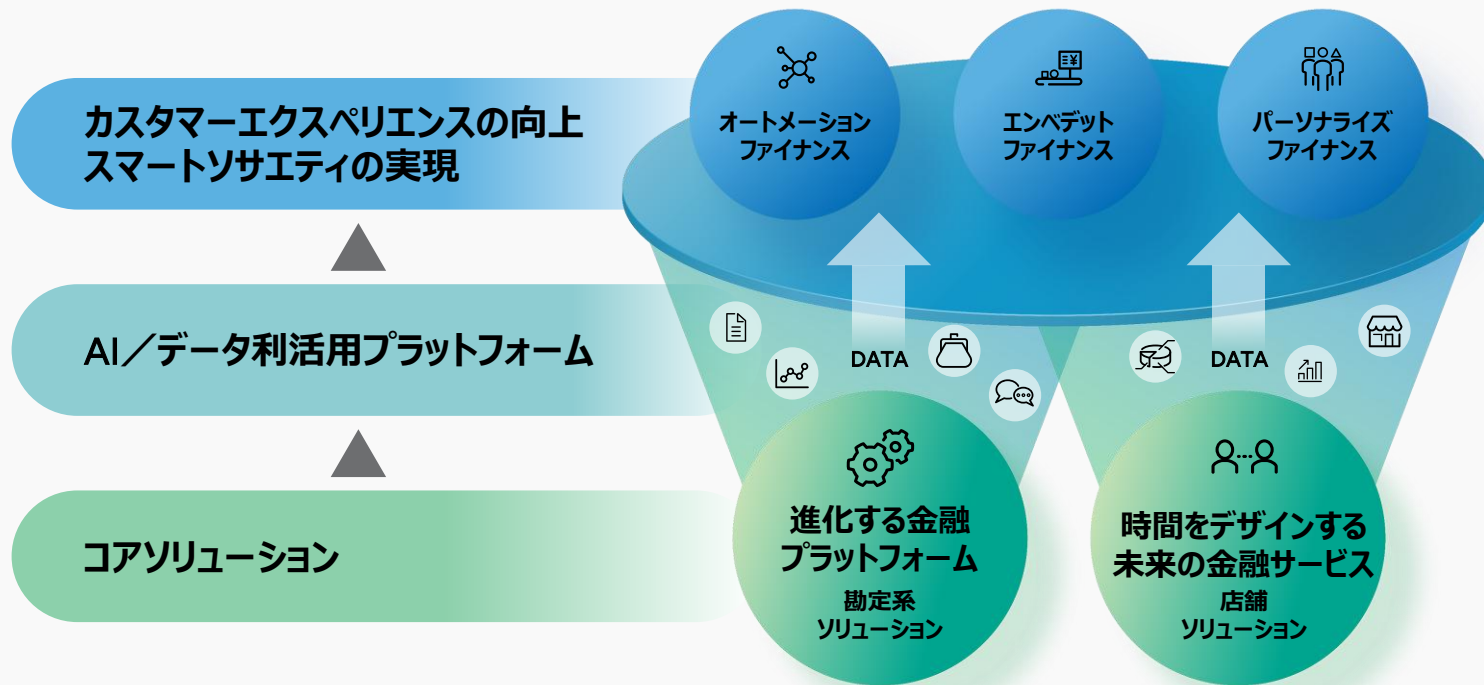
- 手続きの負担軽減
- 給付金受取時期短縮

自己紹介

- 1995 クレジット/リースビジネスリード
リースグローバルビジネス推進
シリコンバレースタートアップアライアンス
- 2019 保険業種ビジネス責任者
- 2021 保険業種ビジネス／デリバリー責任者
- 2022 FS&I事業本部 本部長
保険パッケージ開発会社をM&A+PMI推進



- 信頼性の高いコアソリューションを継続的に進化させるとともに、そこから得られるデータを活用することで、人々の生活を豊かにするカスタマーエクスペリエンスの向上、スマートソサエティの実現を目指します



2022年

2,300万人

2022年

40%

1998年 : 1,500万人



2022年

2,300万人

病気を抱えながら
働く人の人数

1998年 : 25%



2022年

40%

病気を抱えながら
働く人の割合

闘病しながら働く人の1日

朝 体が重い中、出勤

昼 副作用に耐えながら業務

夕方 疲労困憊で帰宅



検査
結果

仕事

家族

診断書手続き

- 書類を受取りに行くための時間
- 保険会社に提出するための時間



必要な時間

- 仕事を続けるために体を休める時間
- 家族と過ごす時間

今の時代の患者本位の社会とは？

当社サービスを利用した30代女性

私は働きながら治療をしており、有明病院まで1時間以上かかる場所に住んでいます。
がん発覚から半年、ステージ4Bという命の不安と体力と金銭面で物凄い不安の中、
このサービスのおかげで少し楽に過ごせました。
誰かの役に立つという部分で確実にがん患者の助けになっています。
残された時間を書類申請のために使わなくて済んだ2ヶ月、本当にありがとうございました。

オンライン診断書連携サービス



単なる「効率化ツール」



大切な時間を守る

オンライン診断書連携サービスとは

患者・病院・生命保険会社を繋ぎ、
患者の給付金受取にかかる期間と手間を削減

支払日数：最短8日

患者満足度92%

患者本位の社会の実現



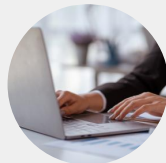
オンライン診断書連携サービス



医療機関



診断書



保険会社



患者

給付金請求の
事務手続軽減

- 給付金受取時期短縮
- 手続きの負担軽減



なぜこれまで実現できなかったのか



課題1 セキュリティ

- 診断書は機微情報
- 外部接続には慎重
- 専用線接続はコストや運用負荷大



医療機関と保険会社を
つなげる接続基盤が無い



課題2 メリットの欠如

- 診断書は保険会社の査定業務に寄与
- 医療機関にとっては保険会社へのデータ伝送は追加の事務負荷



医療機関にとって
導入する動機が無い



課題3 構造的な難しさ

- 利用する保険会社や医療機関が複数存在するN:Mの構造で効果が生まれる



単独企業では実現できない

なぜ富士通が実現できたのか

解決策1 既存の接続基盤を活用

- 電子カルテ保守ネットワークを活かして既存の閉域網を利用
(当社は電子カルテシェアNo1)



医療機関がセキュリティリスクを負うことなく接続可

解決策2 生産性向上機能を提供

- オンライン受付機能や従来は一部しか自動化できなかった診断書作成を半自動化するツールを開発



医療機関の生産性向上に寄与

解決策3 診断書の改ざん防止

- 専用ネットワークでつないで、患者が介在することなく保険会社に診断書を連携



改ざんされるリスクを排除

解決策4 両業種に対する深い業務ノウハウ

- 長年培ってきた医療業界と保険業界に対する深い造詣に基づいたシステム設計、サービス設計



両者にとってメリットが生まれる仕組みづくり

解決策5 業種横断のクロスインダストリーサービス

- 複数医療機関、複数保険会社が利用することを前提としたマルチテナント型のSaaSモデルでサービスを提供



医療機関×保険会社のエコシステムを形成

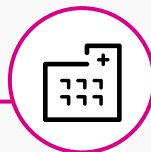
このサービスが提供する価値

患者、医療機関、保険会社をつなぐハブ



患者(被保険者)

Fujitsu



医療機関



保険会社



ストレスのない給付請求



医療従事者の働き方改革



業務DX加速

給付金支払いに関わる各ステークホルダーに対する貢献

多くの患者を救うために

- 医療と保険、それぞれが持つ本来の社会的役割をデータとテクノロジーで最大化し、健康リスクの予防・治療・保障を一体で提供する社会の実現を目指します

As-Is

Next step

To-Be

診断書請求

簡易請求

患者からの申請ではなく治療イベント起点、AIドリブンでの**完全自動化された即時申請・即時給付**

医療データに基づくリスクの捕捉により**持病があっても入れる保険、医療情報＋予後・再発防止を組み込んだダイナミックプライシング**

個別化伴走性の深化により**健康維持＋Financial Well-beingの日常化**

2026

2027

2030

**保険と医療のつながりを
テクノロジーで実現し
患者の大切な時間を守る
社会を前進させます**



次の10年の 医療-保険連携を 一緒に創りませんか

「健康を支える医療」と
「人生を支える保険」をつなぐ
オンライン診断書連携サービスへの
ご参加をお待ちしています



本セミナー・資料に関するお問い合わせ先

富士通株式会社 Fujitsu Experience Day 2026 金融関連ブース事務局
contact-gofin@cs.jp.fujitsu.com

※お問合せいただく際、メール件名か本文に「セミナー：給付請求に伴う患者の負担を軽減、に関する問合せ」とご記載ください